

SMBCグループ 個人投資家向け説明会

2025年9月8日

証券コード	8316
単元株数	100株
株価*	4,084円

* 2025年9月5日現在

本日のアジェンダ

I

SMBCグループの総合力 // 3

II

SMBCグループの成長性 // 6

III

SMBCグループの株主還元 // 19

ご案内 // 23

ご参考資料 // 26



I. SMBCグループの総合力



グループ総合力強化の歴史

国内の各業界を代表する主要子会社とともに業務のウイングを拡大し、
アジアの金融機関を中心に投資・提携を行うことで地域のウイングを拡大

業務のウイング

三井住友銀行
三井住友カード
三井住友ファイナンス&リース
日本総合研究所

発足



SMBC
コンシューマーファイナンス

プロミス

SMBC信託銀行

外貨で貯めて、
外貨で支払う。



GLOBAL PASS®

SMBC日興証券



三井住友DS
アセットマネジメント



連結粗利益の内訳

連結粗利益の内訳	03/3	25/3
三井住友銀行 以外のグループ会社	18% ➡	27%
国内貸出金・預金関連 （三井住友銀行単体）	35% ➡	14%
海外ビジネス（銀行業）	5% ➡	36%

Bank SMBC
Indonesia (インドネシア)



SMBC Aviation Capital
(アイルランド)



地域のウイング

SMFG India Credit Company (インド)

FE Credit (ベトナム)
RCBC (フィリピン)



Jefferies (米国)

現在のSMBCグループ°

いずれも
過去最高

2024年度業績



連結粗利益
(一般企業の売上に相当)

4兆1,267 億円

総資産

306 兆円

連結業務純益
(一般企業の営業利益に相当)

1兆7,193 億円

貸出金残高

111 兆円

親会社株主純利益

1兆1,780 億円

預金残高

189 兆円

拠点

グループ全体
(海外)



38

カ国・地域

146

拠点

従業員

グループ全体



12

万人

うち海外



6.6

万人

Ⅱ. SMBCグループの成長性



当社を取り巻く環境



金利のある世界へ

※詳細は次ページ



コーポレートガバナンスの進展



グローバル化の反転・分断



テクノロジーの進化



従業員の価値観の多様化



社会課題の深刻化

預貸金の獲得 **P.9・10**

資産運用
ソリューションの提供 **P.11**

活発なコーポレートアクションの捕捉 **P.10**

長期的な目線での成長取り込み **P.12・13**

テクノロジー・生成AIの活用 **P.14**

多様な従業員が活躍する環境整備 **P.15**

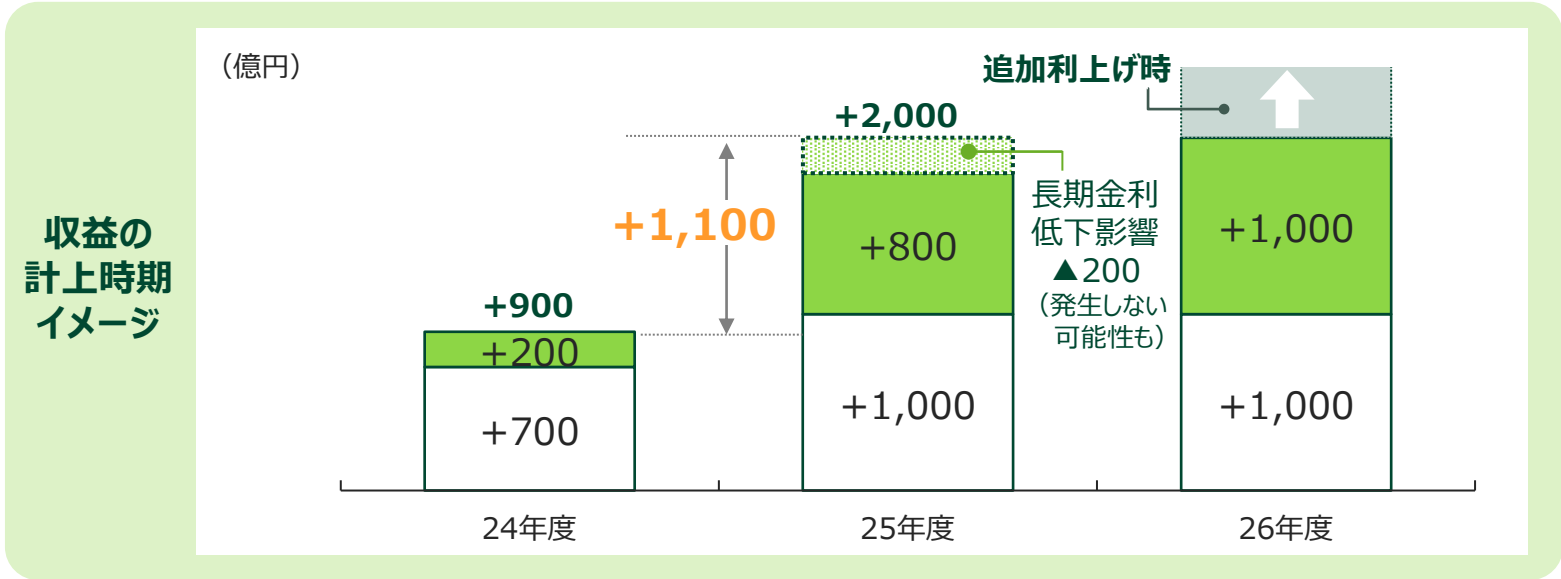
社会的価値の創造を牽引 **P.16**

激しい変化に迅速に適応し、
社会インフラとしての役割を果たしながら、社会とともに成長

当社を取り巻く環境：円金利上昇による資金利益への影響*1

	24年3月	24年7月	25年1月	今後
政策金利	0-0.1%	0.25%	0.50%	さらに +0.25% あたり
資金利益 影響 (億円)	+1,000		+1,000	+1,000*2

試算の前提	
市場連動貸金	+25bps
短期プライムレート 連動貸金	+25bps
固定貸金	+25bps
国債	+25bps
日銀当預付利	+25bps
普通預金	+10bps
定期預金	+15bps

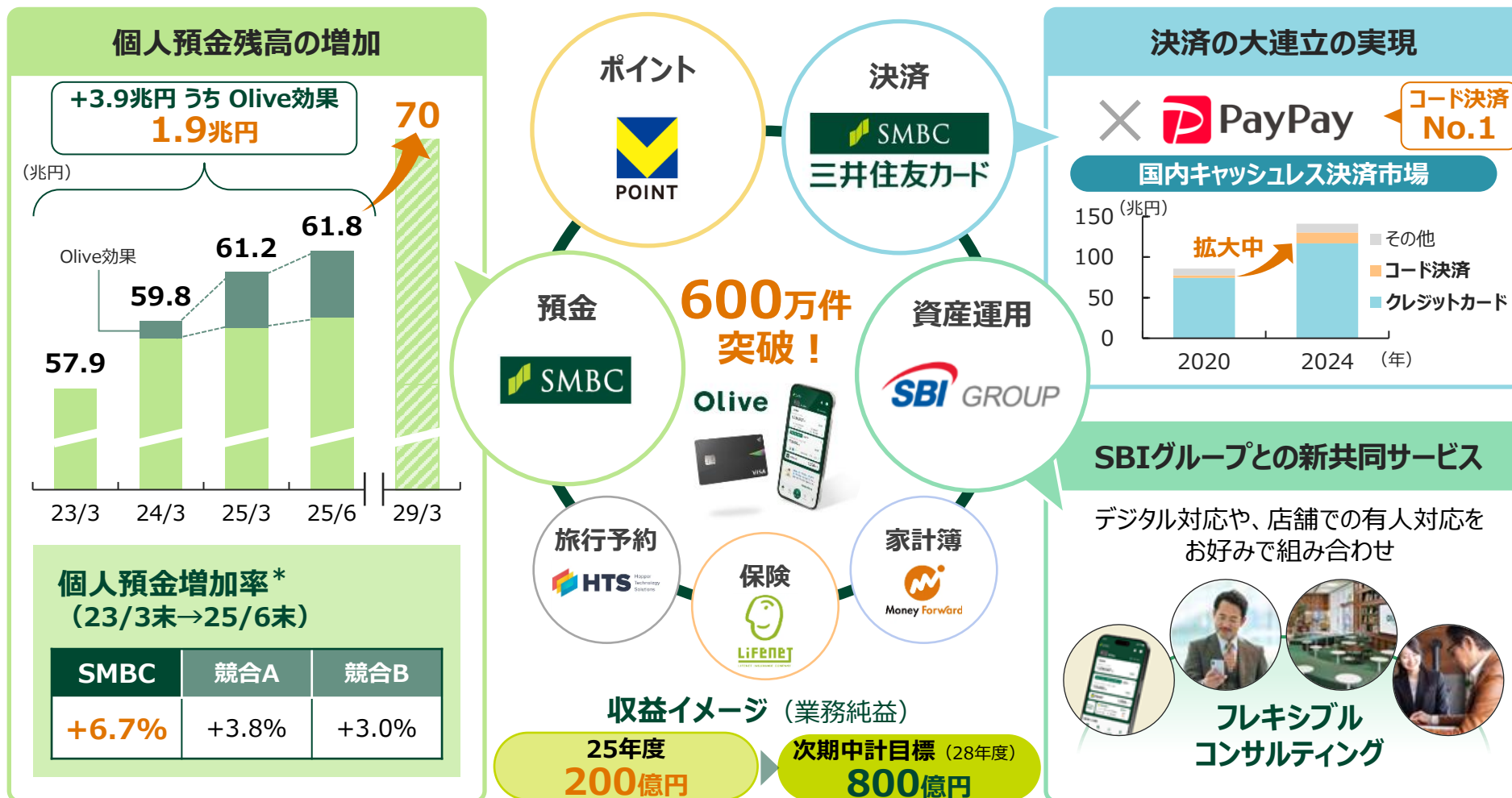


*1 バランスシートは不変の前提 *2 長期・短期金利ともに+25bpsずつ上昇の想定

Oliveを軸にしたリテールビジネス

預貸金の獲得

さまざまな金融・非金融サービスをシームレスに繋ぐ「Olive」で、利便性の高い顧客体験を創造
外部パートナーとも連携しながら、今後も顧客基盤・取引を拡大



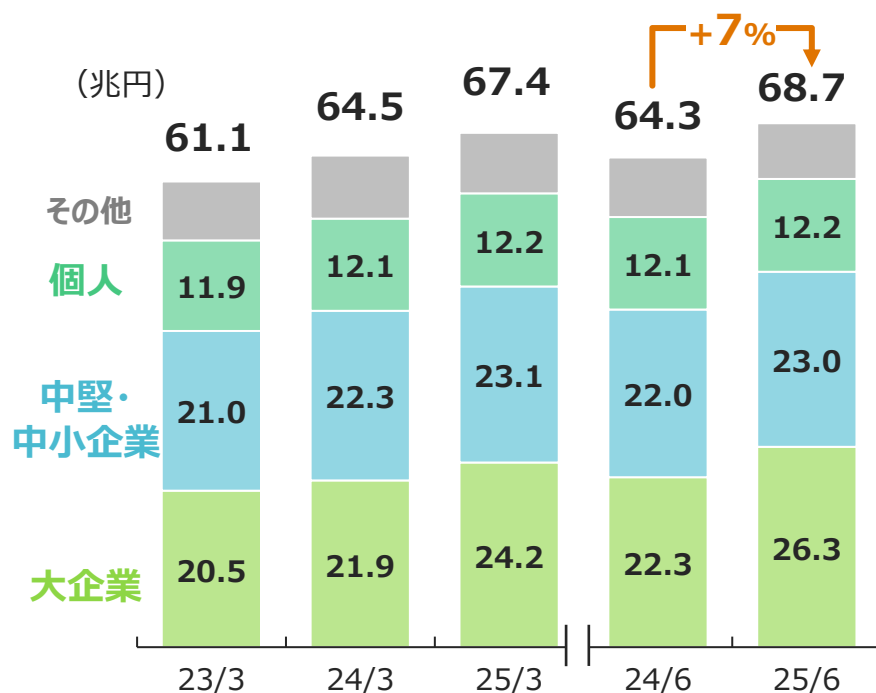
国内ホールセールビジネスの強化

預貸金の獲得

活発なコーポレートアクションの捕捉

付加価値の高い提案により、お客さまのコーポレートアクションをはじめとした資金需要を捕捉
中小企業のお客さまに向けたデジタル総合金融サービス「Trunk」を接点に、預金も獲得

国内向け貸出金残高（SMBC単体）*1



競合他社比較：貸出残高の増加額（19/3-24/3）*2

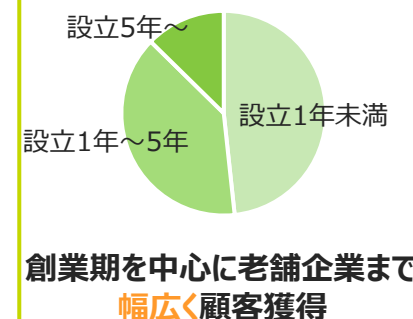
（兆円）	SMBC	競合A	競合B
大企業	+7.7	+3.8	+3.1
中堅・中小	+4.5	+3.9	+1.8

法人向けデジタル総合金融サービス **Trunk**

目標：3年で30万口座 / 預金3兆円



口座開設企業の業歴



リリースから約2か月で
口座開設数は**1万口座**を突破

粘着性の高い預金を獲得し、収益力を強化

*1 内部管理ベース

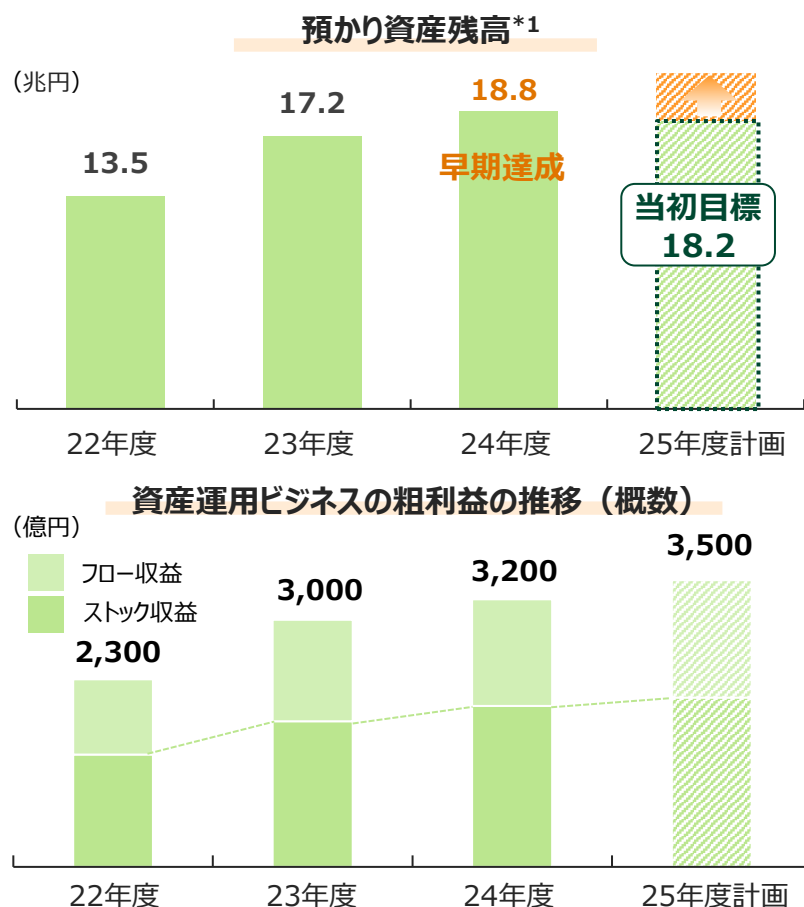
*2 19年度から24年度の末残増加額（他社開示資料をもとに作成）

資産運用ソリューションプロバイダーへ向けて

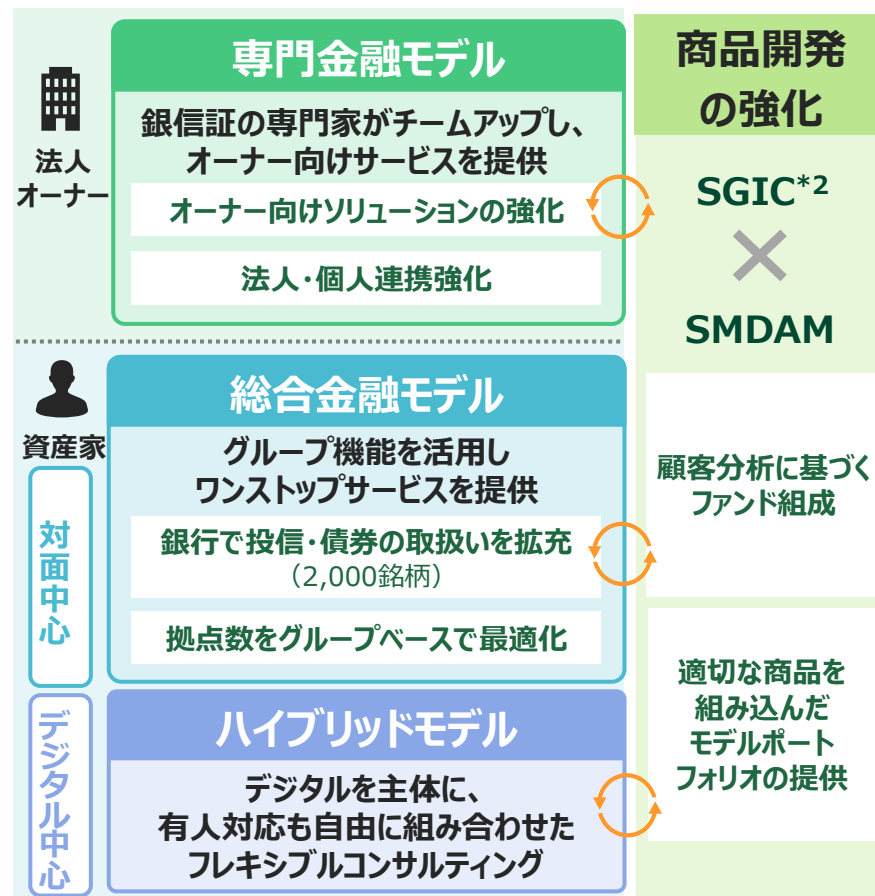
資産運用ソリューションの提供

「貯蓄から資産形成へ」の流れを受け、ストックビジネスは順調に拡大
引き続きグループ一体運営のさらなる強化により、多様化するお客さまのニーズに適切なソリューションを提供

ストックビジネスの拡大



さらなるグループ一体運営



*1 SMBC、SMBC信託、SMBC日興における投信や、外貨預金残高の合計

*2 SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング

アジアのダイナミックな成長

長期的な目線での成長取り込み

インド・ベトナム・フィリピン・インドネシアの4カ国でフルバンキングを提供するマルチフランチャイズ戦略を展開
YES BANKへの出資を通じて、特に高い成長ポテンシャルを持つインドでの戦略を加速

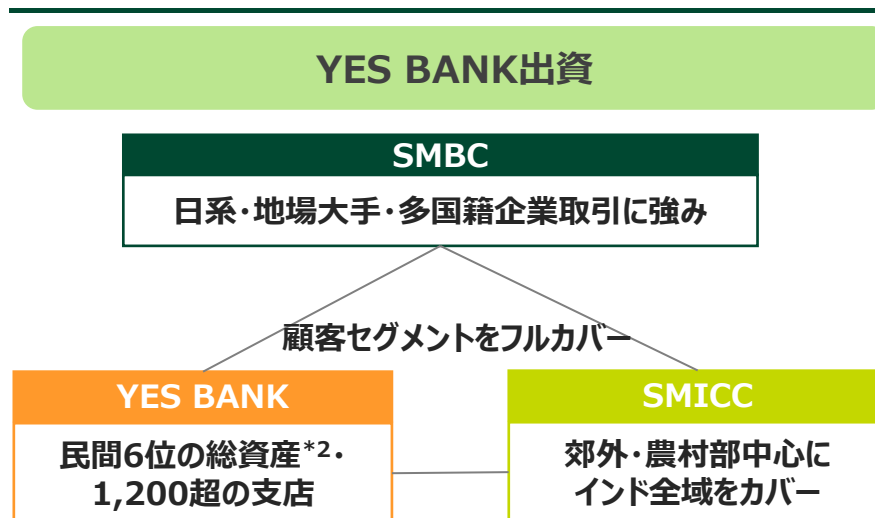
マルチフランチャイズ戦略の全体像



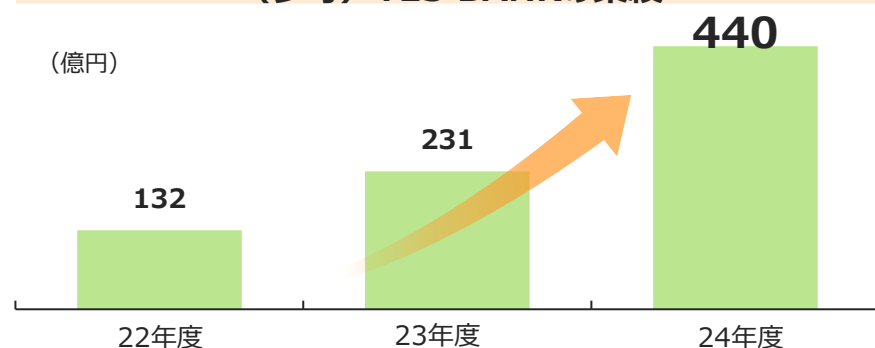
高い成長ポテンシャル

実質GDP 成長率予測 ^{*1} (2030年)	インド	ベトナム	フィリピン	インドネシア	(参考) 日本
	6.5%	5.3%	6.3%	5.1%	0.5%

インドにおける成長戦略



(参考) YES BANKの業績



*1 出典：IMF Database

*2 2025/3末時点。為替レートはINR/JPY=1.80を適用

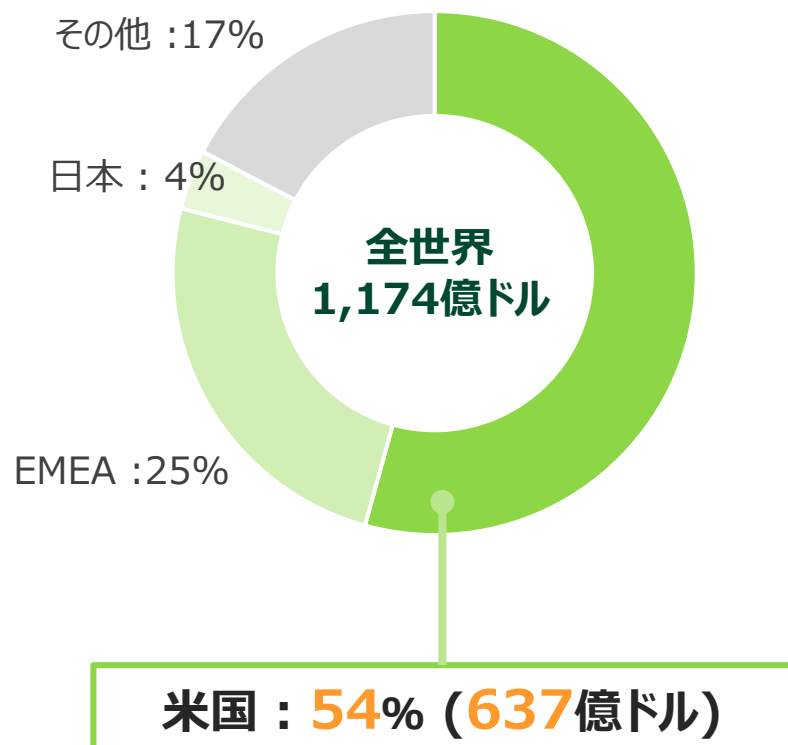
米国でのさらなる成長

長期的な目線での成長取り込み

米国は世界最大の金融マーケット

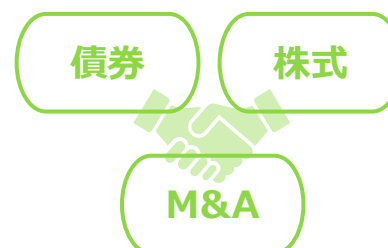
米国証券会社であるJefferiesとの資本・業務提携は順調に進捗し、カバレッジを拡大

世界の投資銀行業務フィートール*1



Jefferiesとの提携

Jefferies



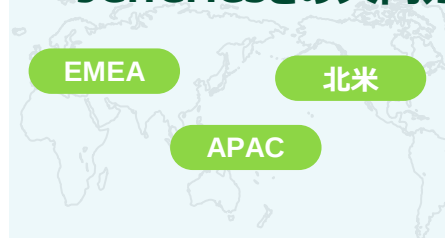
協働実績*2

案件 : 286件成約

収益 : 96 億円

共同カバレッジ地域・顧客数の拡大

Jefferiesとの共同カバレッジ顧客数



24年度 約100社

25年度 200社超

*1 LSEGの情報を基に当社で作成

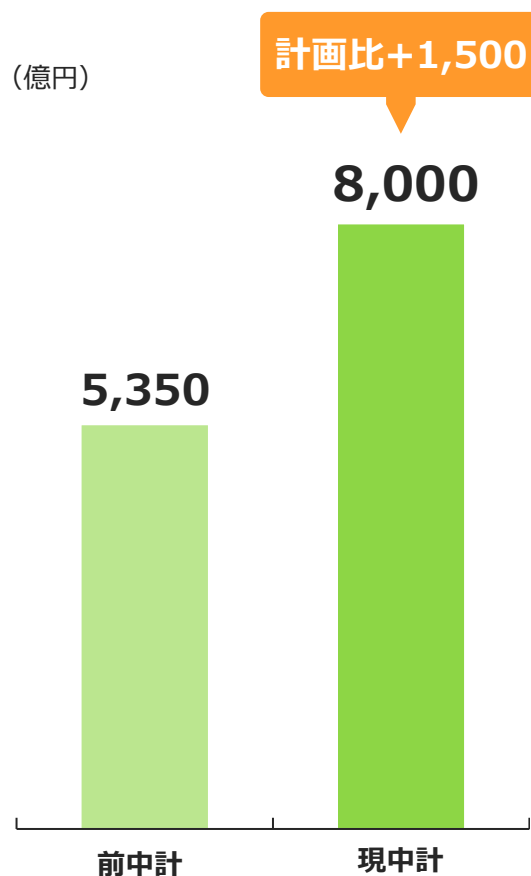
*2 案件件数は25年6月までの累計、収益は24年度のプライマリービジネスでの協働収益

将来の成長に向けたIT投資

テクノロジー・生成AIの活用

OliveやTrunkといった成長施策推進や、経営基盤の強化に必要なIT投資を実施
生成AIによるコア事業の抜本的な改革も進め、AI-leading Financial Institutionとしてブランドを確立

IT投資額



成長投資

Olive

Trunk

チャネル改革



経営基盤投資

国内勘定系
システム更改

生成AI

投資枠 500億円^{*1}

AI-CEOの導入



顧客向けAIソリューション事業

海外トップ人材の招へい

オペレーション自動化

^{*1} 次期中計期間までの合計

人的資本経営の推進

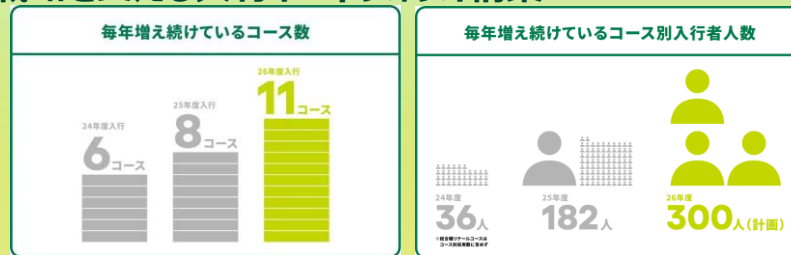
多様な従業員が活躍する環境整備

勤勉で意欲的な従業員が思う存分にその能力を発揮できる環境と組織風土を構築

SMBCでは2026年1月に合併以来の抜本的な人事制度改定を実施

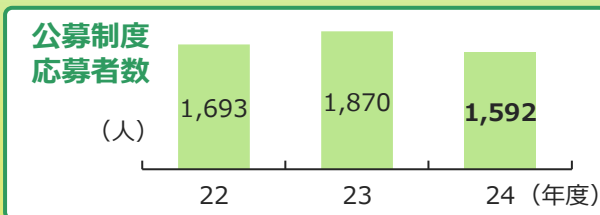


戦略を支える人材ポートフォリオ構築



従業員の成長とウェルビーイング支援

自律的な
キャリア形成を
支える仕組み作り



チームのパフォーマンス最大化

意思決定層の
多様化

	実績	目標 ^{*3}
女性取締役比率	27.3%	30%
女性管理職比率 ^{*1}	22.1%	25%
外国籍役員数	23名 ^{*2}	25名

*1 女性活躍推進法に基づき目標設定・集計 *2 25/4末時点

*3 25年度（女性取締役比率は30年度）

社会的価値の創造

社会的価値の創造を牽引

全員参加による当社の自発的な取組の拡大を進めるとともに、
取組の輪を外部に広げ、社会全体での社会的価値創造をリード

SMBCグループ

シャカカチDAY



よりよい社会のため、動こうよ、全員で。

のべ250拠点、
18,000人が参加



パートナー

環境

- トランジションファイナンス推進



日本の再成長

- 産学連携の加速



社会

貧困・格差

- こどもの居場所・体験機会の提供



少子高齢化

- ライフシフトサービスの提供

SMBC
エルダープログラム



DE&I・人権

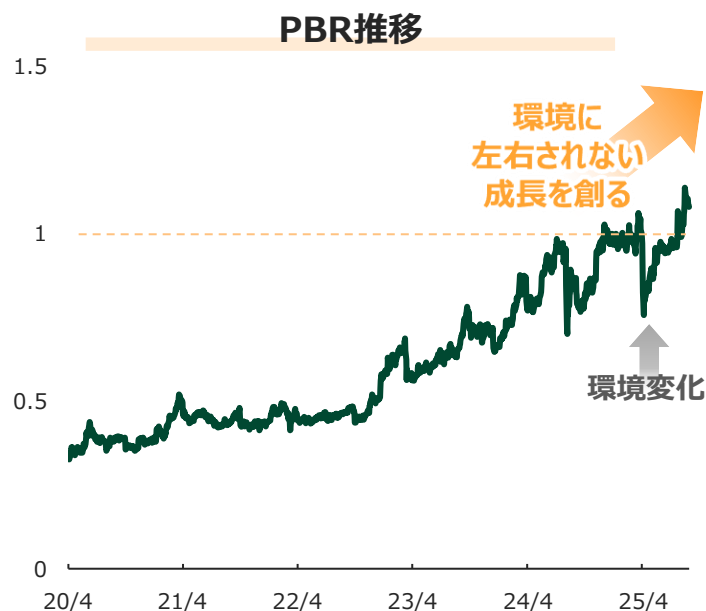
- 人的資本経営
推進
分析融資
- HR Navi



企業価値向上に向けて

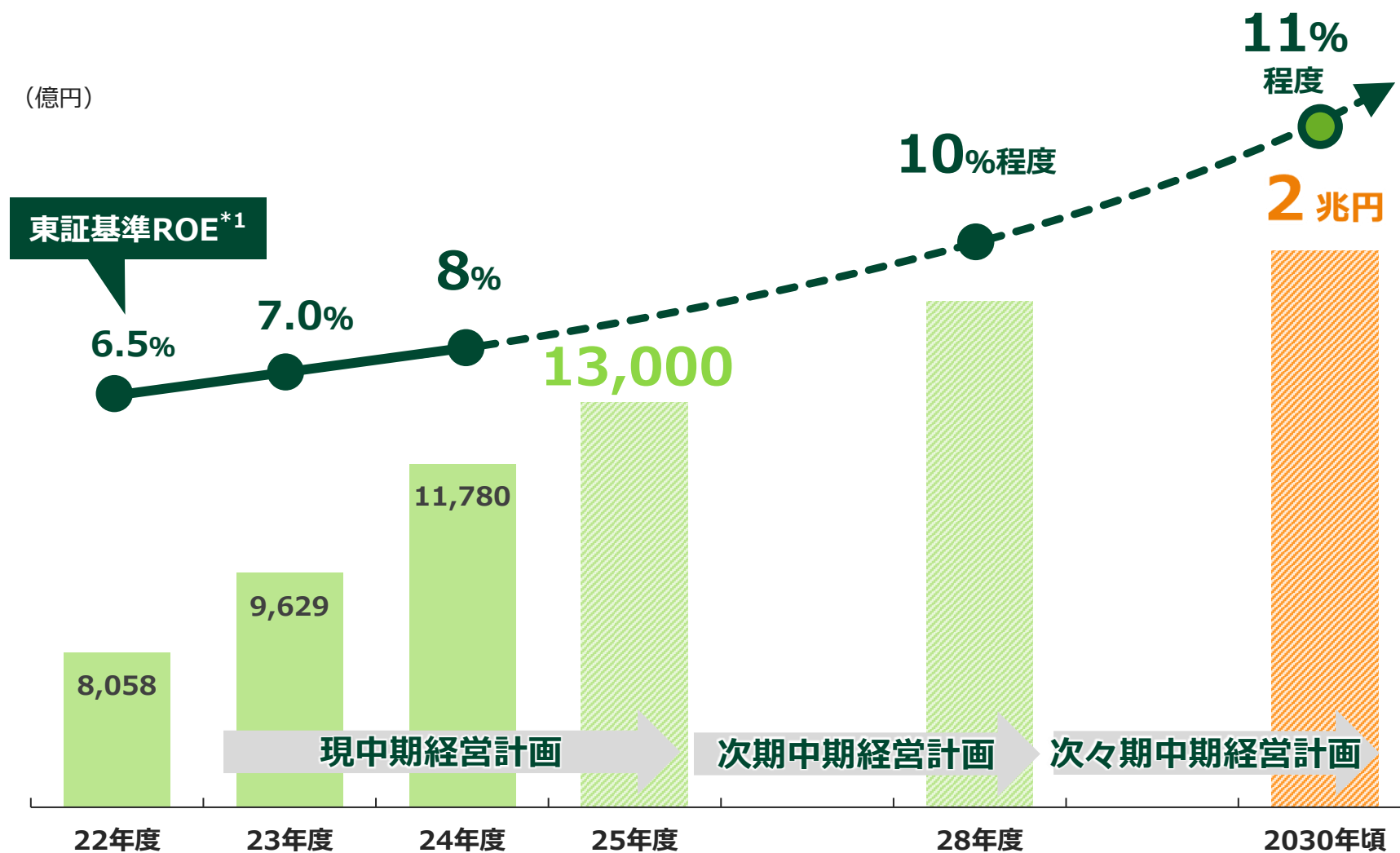
環境に左右されないSMBCグループ自身の成長期待を創出し、企業価値を向上
自己資本利益率（ROE）と株価収益率（PER）の両面の取組を実施

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{PBR} \\ \hline \frac{\text{株式時価総額}}{\text{純資産}} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{ROE} \\ \hline \frac{\text{当期純利益}}{\text{純資産}} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{PER} \\ \hline \frac{\text{株式時価総額}}{\text{当期純利益}} \\ \hline \end{array}$$



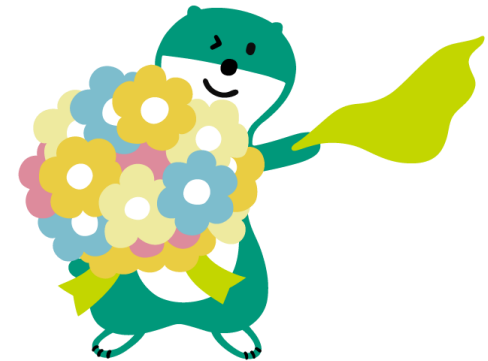
中期的に目指す財務的成果

中長期的には東証基準ROE11%程度、当期純利益 2 兆円を目指す



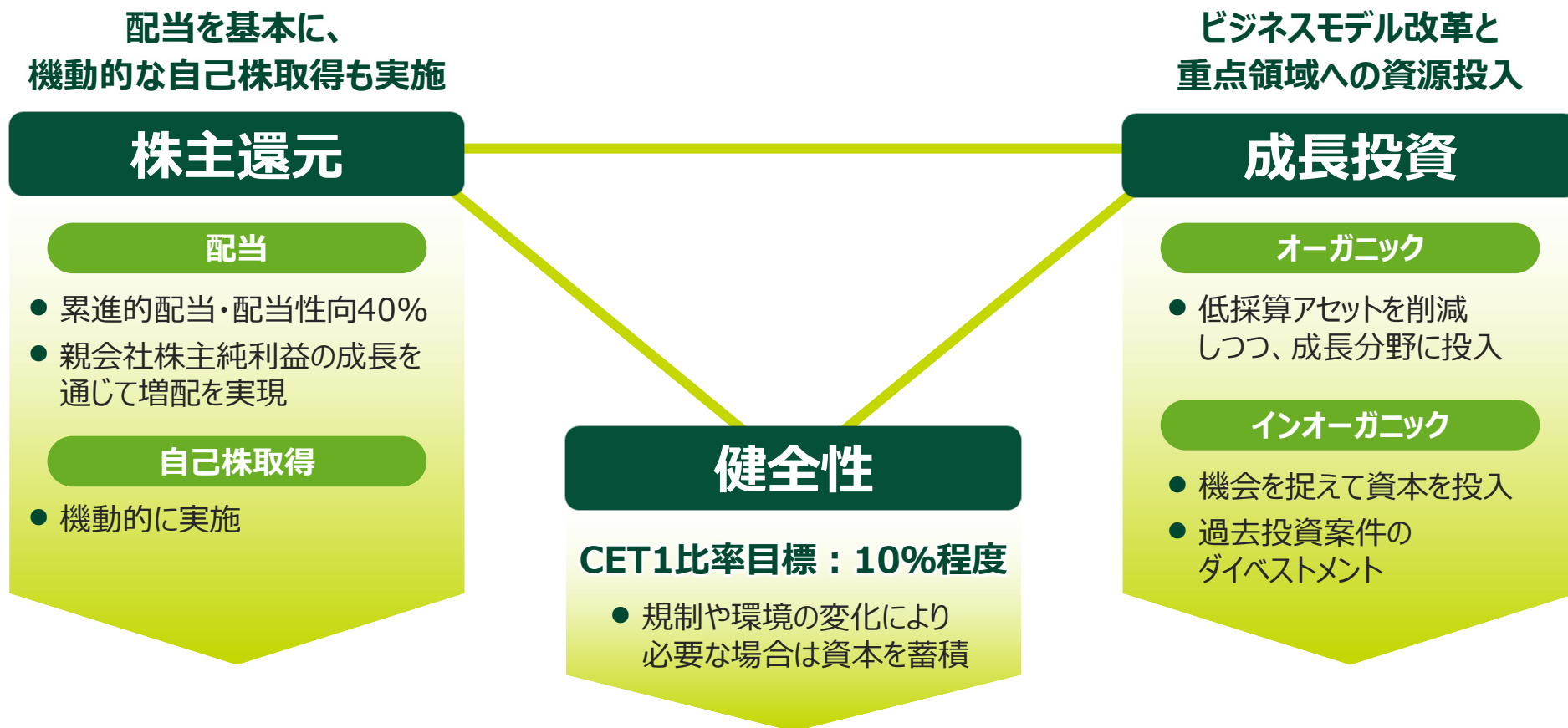
*1 親会社株主純利益 / (純資産 - 新株予約権 - 非支配株主持分)

Ⅲ. SMBCグループの株主還元



資本政策の基本方針

健全性確保、株主還元、成長投資をバランスよく実現



株主還元の推移

足元の10年間、コロナ禍による影響を受けた2020年度を除き、全ての年度で増配を実施
加えて、期中に機動的な自己株取得を実施



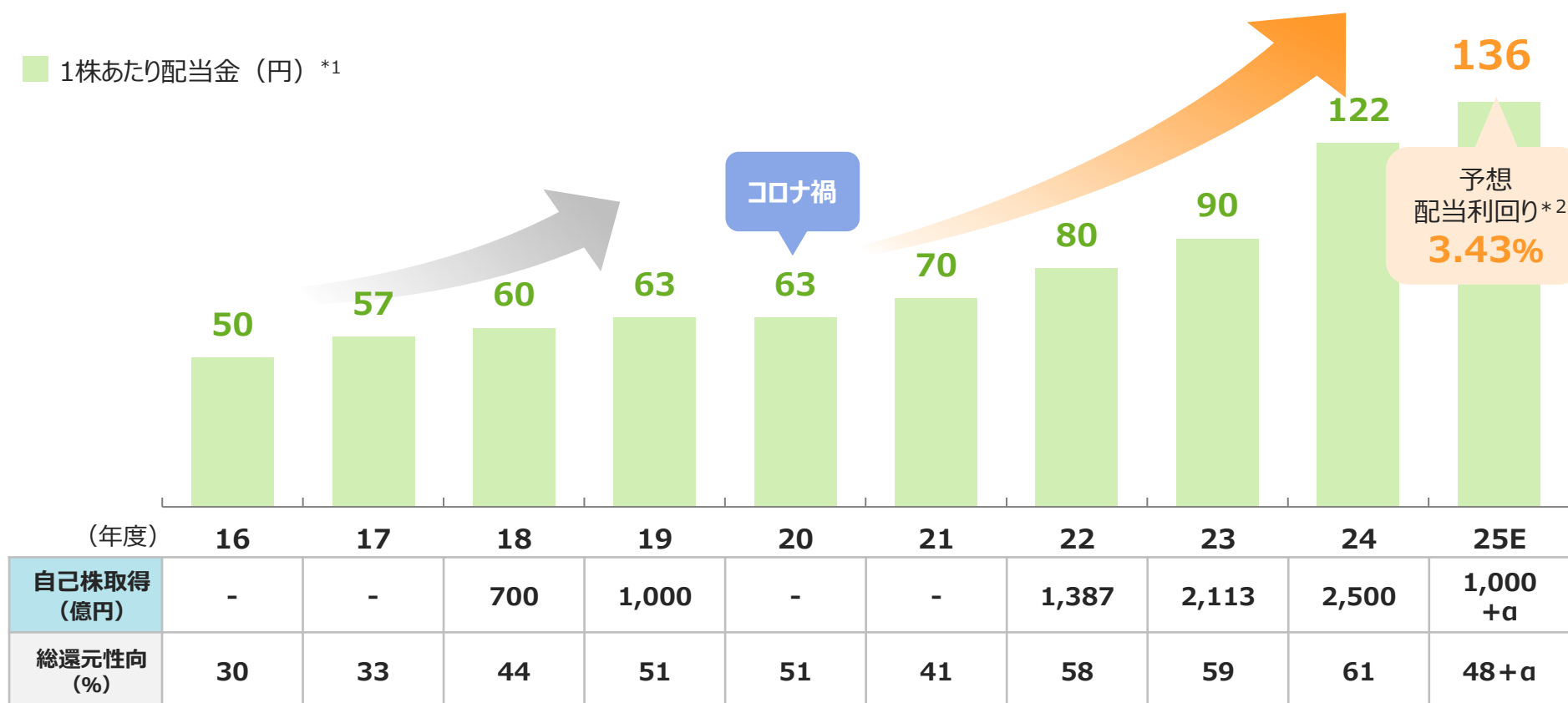
累進的配当



機動的な自己株取得



1株あたり配当金（円）*1



*1 2024年10月1日付で実施した株式分割（3分割）を踏まえ、過去に遡り調整した金額（小数点以下は四捨五入）

*2 2025年8月29日時点の株価を基準に計算

まとめ

本日お伝えした3つの強みをもって、株主さまのご期待に応えていきます

1.

グループ総合力の結集

2.

環境変化をチャンスに変える成長性

3.

積極的な株主還元



ご案内



当社からのレポート

SMBC GROUP REPORT 2025（統合報告書）

<https://www.smfg.co.jp/gr2025/>

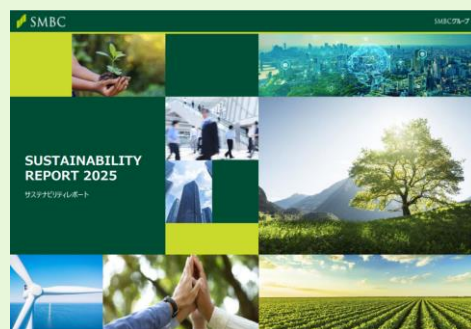
経営陣からのメッセージや、従業員へのインタビューをピックアップした特設サイトを公開
本編には、社会的価値創造や、経営基盤の格段の強化に向けた継続的な取組も掲載



サステナビリティレポート

<https://www.smfg.co.jp/sustainability/report/backnumber/>

気候変動、自然資本、人権、
さらにSMBCグループの競争力の源泉である人的資本に関する取組を、一冊にまとめて開示



NIKKEI 企業キャラクター総選挙 2025

企業キャラクター人気ランキングを決める「NIKKEI企業キャラクター総選挙 2025」が開催中
SMBCのコーポレートキャラクターであるミドすけも初代チャンピオンを目指してエントリー

NIKKEI 企業キャラクター総選挙 2025

QRコードをスキャンして
ボクに投票してね！

ミドすけ



©dwarf



投票期間：～9/19（金）迄
結果発表：日本経済新聞にて
10月中に掲載予定
参加方法：QRコードから投票サイトへアクセス

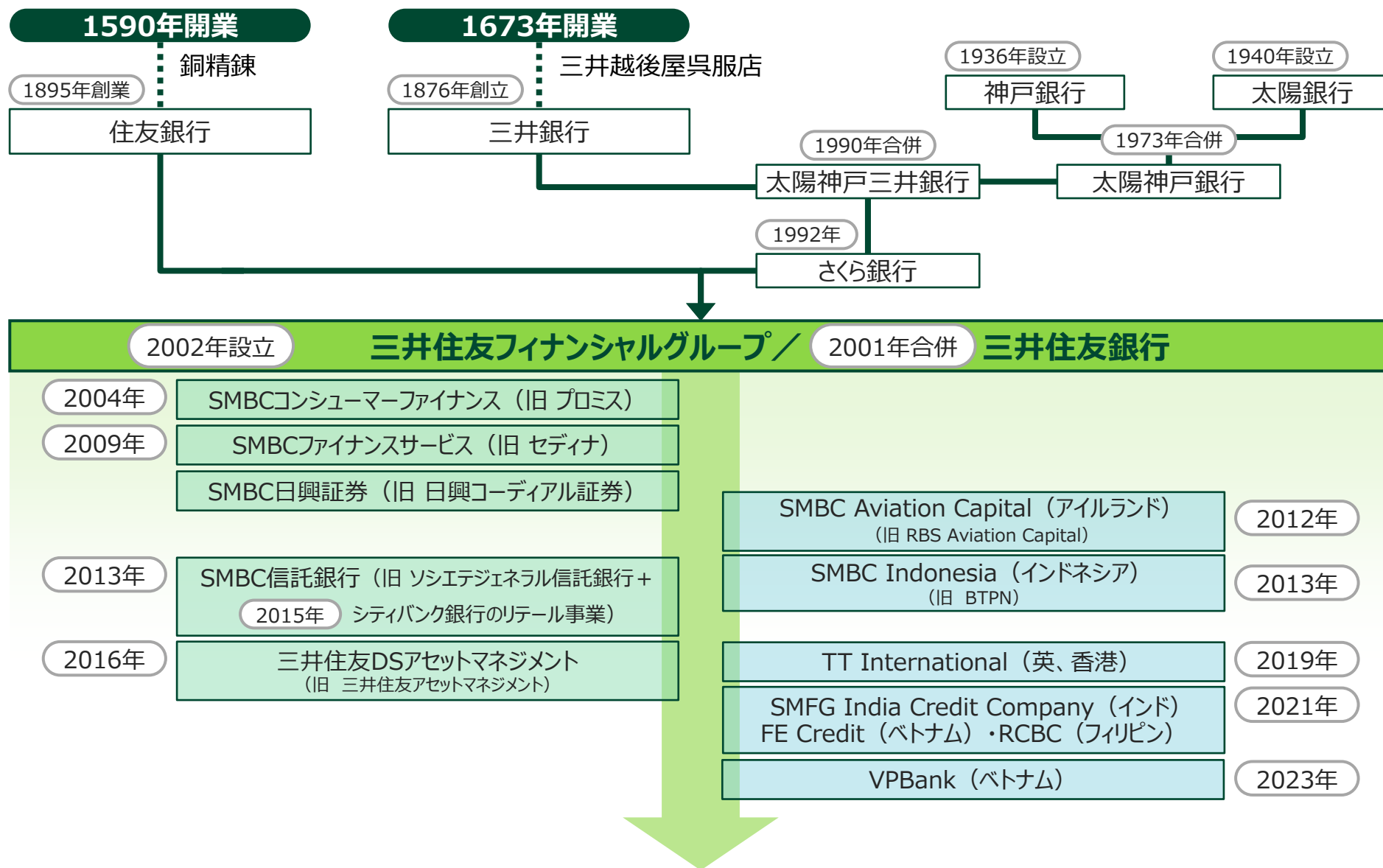
【注意事項】

- 投票には日経IDが必要です
- 投票はおひとりさま1回までとなります

ご参考資料



SMBCグループの沿革



決算の概要

連結P/L

(億円)	25年度 1Q	前年 同期比	25年度 目標
連結粗利益	10,878	+579	
営業経費 (経費率)	▲5,997 55.1%	▲73 △2.4%	
持分法投資損益	進捗率 562	+248	
連結業務純益	29% 5,443	+755	18,500
与信関係費用	▲756	▲464	▲3,000
株式等損益	411	▲413	
その他	▲264	▲253	
経常利益	4,833	▲376	18,000
特別損益	▲18	+9	
税コスト	▲1,022	△426	
親会社株主純利益	29% 3,769	+55	13,000

東証基準ROE	10.4%	+0.3%
株主資本ROE	13.6%	▲0.2%

主要グループ会社

(左：25年度1Q実績、右：前年同期比)

(億円)	SMBC	SMBC日興 ^{*1}	SMCC ^{*2}
業務粗利益	5,785 +590	1,228 ▲61	2,136 +118
経費	▲2,719 ▲46	▲1,050 △5	▲1,561 ▲177
業務純益	3,066 +544	178 ▲56	605 +7
当期純利益	2,536 ▲79	196 ▲4	322 +167 ^{*3}

	SMBC信託	SMDAM 50%	SMFL ^{*4} 50%
業務粗利益	174 +26	103 +2	969 +115
経費	▲109 ▲8	▲79 ▲0	▲429 ▲100
業務純益	64 +18	24 +2	568 +8
当期純利益	61 +27	8 +0	413 +83

*1 SMBC日興アメリカおよびSMBC Capital Marketsの利益を含む内部管理ベース

*2 SMBCCFの計数を含む *3 SMBCFSとの合併に係る抱合せ株式消滅差益を除いた数字 *4 内部管理ベース

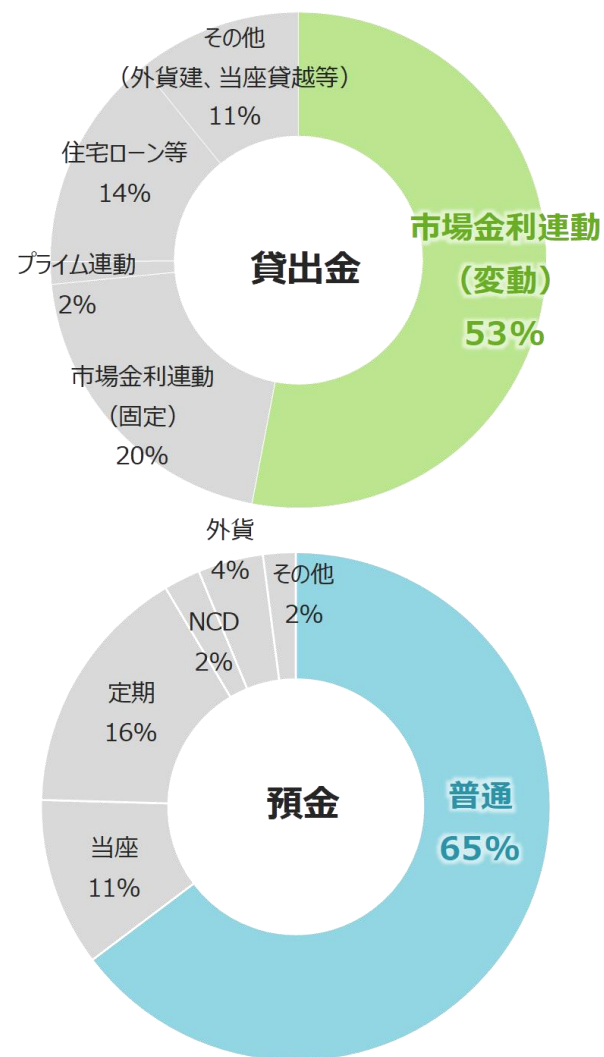
バランスシート

連結B/S (2025/6末)

貸出金	預金
112.7兆円	185.8兆円
国内貸出金 ^{*1} 68.7兆円	預貸率 60.7%
有価証券	国内預金 ^{*1} 131.0兆円
39.3兆円	譲渡性預金 (NCD) 15.2兆円
国債 8.9兆円	
外国債券 18.7兆円	
その他	その他
146.9兆円	98.5兆円
現預金 72.3兆円	
日銀当座預金 ^{*1} 53.8兆円	
	純資産
	14.6兆円

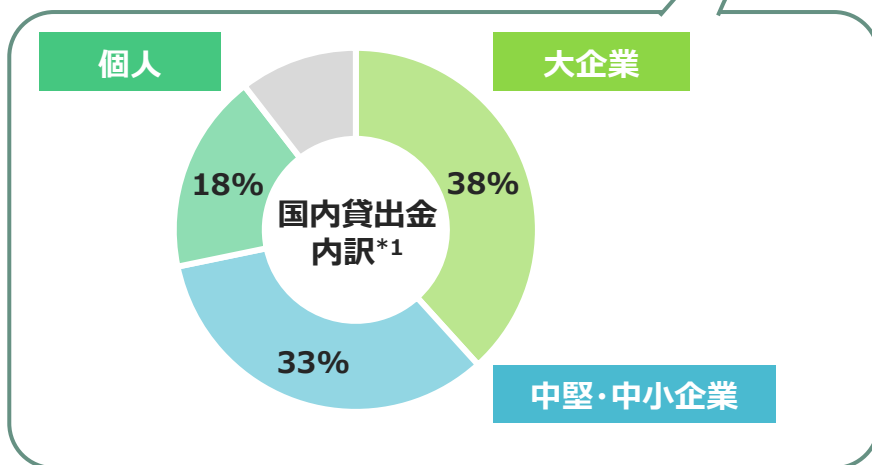
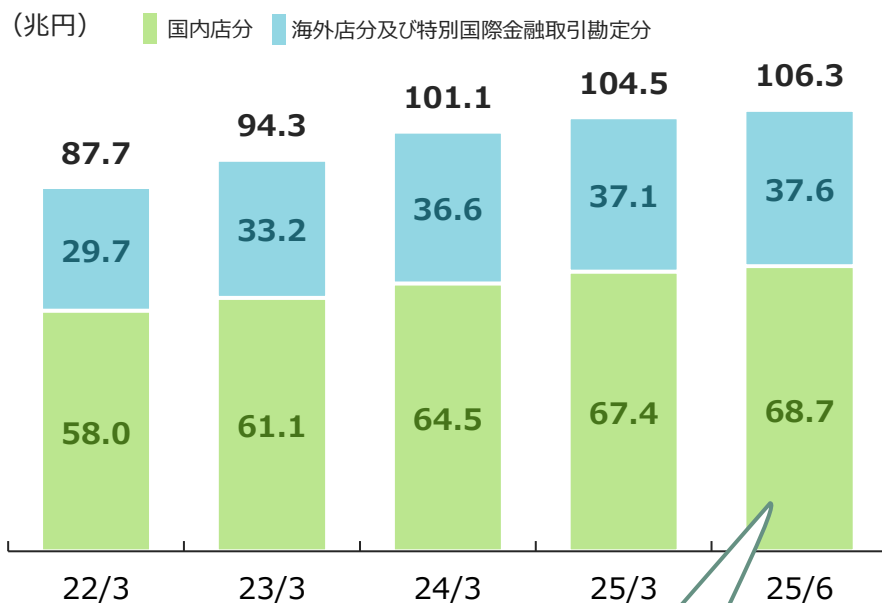
総資産 298.9兆円

預貸金の構成比 (2025/6末) ^{*1, 2}

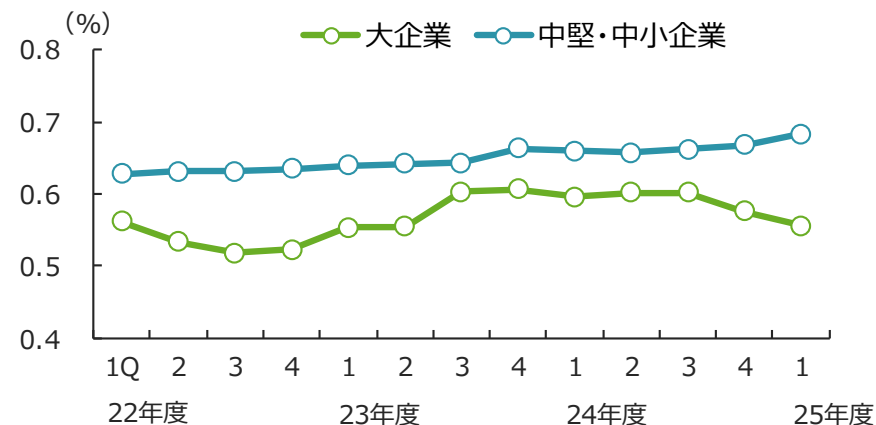


貸出金

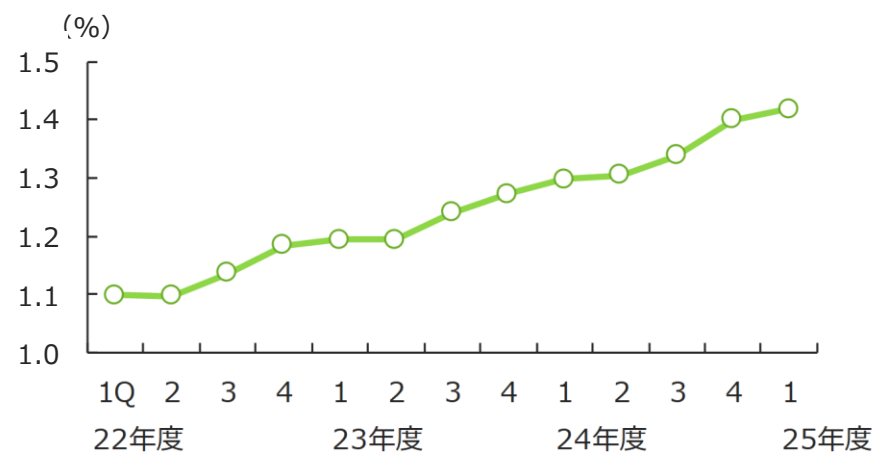
貸出金残高（SMBC単体）



国内法人向け貸出金スプレッド（SMBC単体）*1,2



海外貸出金スプレッド*1,3



*1 内部管理ベース *2 ストックベース、政府向け等を除く

*3 ストックベース、24年度より集計方法の変更、遡求反映を実施

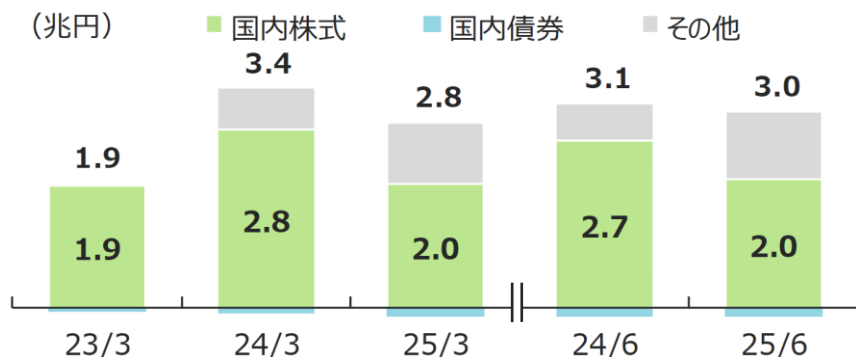
有価証券

その他有価証券の内訳（連結）

(億円)	残高		評価損益	
	25/6末	25/3末比	25/6末	25/3末比
満期保有目的	6,317	+3,573	▲28	+34
その他有価証券	383,286	▲14,481	29,882	+1,821
国内株式	31,007	+555	20,349	+739
国内債券	115,211	▲23,724	▲1,348	+100
うち国債	89,059	▲22,746	▲497	+27
その他	237,069	+8,688	10,881 ^{*1}	+982
うち外債	186,564	+12,316	▲3,704	+787

ヘッジ取引も活用し、リスク量はコントロール

評価損益の推移

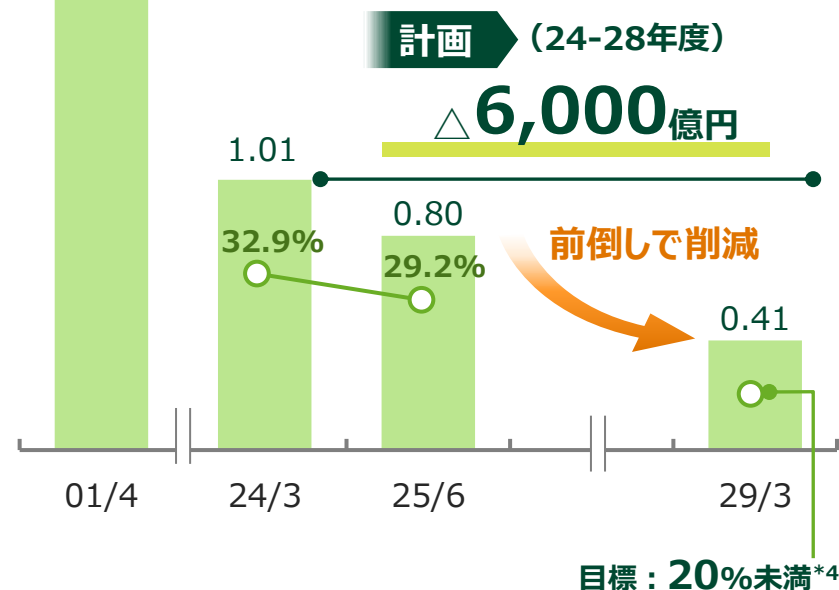


政策保有株式

(兆円) 国内上場株式簿価^{*2}
 政策保有株式時価残高^{*3} ÷ 連結純資産

削減状況

削減額	△2,090億円
24年度	△1,850億円
25年度1Q	△240億円
応諾済未売却額	△840億円



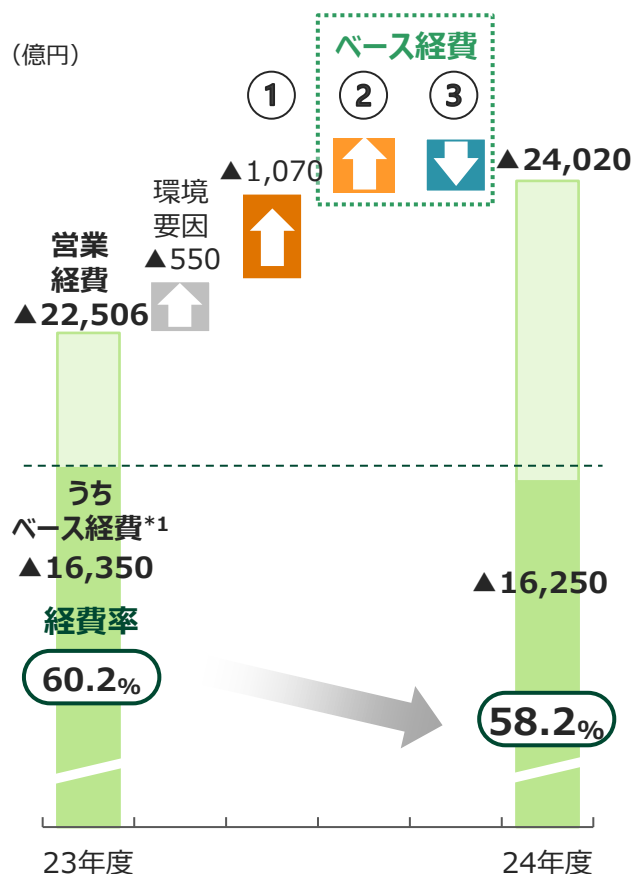
*1 外国債券との差額は外国株式等

*2 20/3末以降の業務提携目的の出資を除く *3 有価証券報告書に記載される「みなし保有株式」の残高を含む

*4 25/3末の日経平均株価@35,618円の前では16%程度

コストコントロール

ベース経費のコントロールとトップライン成長で経費率は改善



① トップライン増加・将来の成長のための戦略的投入		SMCC 買物手数料 +13%	Olive 獲得件数 500万件	中小企業向け Trunkローン
② ベース経費 ↑	上段：ベース経費 下段：業務量	24年度まで		中計目標
		▲1,140億円		▲1,600億円
		+5,140人分		+3,000人分
		海外重点領域への人材投入		▲750億円
		戦略案件のIT投資前倒し		▲400億円
③ ベース経費 ↓		24年度まで		中計目標
		△950億円		△1,600億円
		△5,430人分		△7,000人分
		国内ビジネスモデル改革		
		例 • ストア化：250拠点（25/3まで：87拠点済） • 法人ビジネスのデジタル化		
		△230億円		△600億円
		グループの機能集約		△310億円
		△450億円		
		海外業務効率化		△270億円
		△250億円		
		既存施策の取組強化・追加施策		△140億円
		△300億円		

*1 営業経費から収益連動経費、先行投資にかかる経費、マーケット環境に伴う変動等を除いたもの

外部からの評価

外部格付

	SMFG		SMBC	
	(長期)	(短期)	(長期)	(短期)
Moody's	A1	P-1	A1	P-1
S&P	A-	—	A	A-1
Fitch	A-	F1	A	F1
格付投資情報センター (R&I)	AA-	—	AA	a-1+
日本格付研究所 (JCR)	AA	—	AA	J-1+

ESGインデックスへの組入れ



FTSE Blossom Japan



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



S&P/JPX Carbon Efficient Index

2024 CONSTITUENT MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

2024 CONSTITUENT MSCI NIHONKABU ESG SELECT LEADERS INDEX



FTSE4Good

2024 CONSTITUENT MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX

GPIF 選定インデックス

外部評価*1



健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

2024



プラチナくるみん
子育てサポートしています



SPORTS
YELL
COMPANY
2024



NIKKEI
Smart Work

★★★★★ 2024 Best 22



work with Pride

Gold 2023



女性が活躍しています！



TERRA CARTA

*1 主要グループ各社において、厚労省による子育てサポート企業に係る認定「プラチナくるみん」(4社)、女性活躍推進に係る認定「えるぼし」(3段階: 2社、2段階: 5社)、スポーツ庁による従業員の健康増進を目的としたスポーツ活動に係る認定「スポーツエルカンパニー2024」(3社)を取得

10年間の株価・PBR推移*



*1 2024年10月1日付けで実施した株式分割を踏まえ、それ以前の株価については遡って調整

キャラクター紹介

ミドすけ



©dwarf

- 三井住友銀行キャラクター
- ひよんなことから人間の世界に住みついた、緑色のカワウソ
- 特技は、10円玉を立てること

ビバすけ



- SMBCグループ共通のポイントであるvポイントを知ってもらいたくて、日々はりきっているビーバー
- 趣味は、vポイントを集めること



三井住友フィナンシャルグループ



本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」、ならびに、環境、社会およびガバナンスにかかる当社グループのサステナビリティに関連する活動に関する記述（「サステナビリティに関する記述」）が含まれております。

多くの場合、これらの記述には、当社グループの将来に関する事項を表す「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績や結果を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績や結果は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」および「サステナビリティに関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績や結果に影響を与えうるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有する有価証券の時価の下落、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループの国内外におけるビジネス戦略が奏功しないリスク、提携・出資・買収および買収後の経営統合が奏功しないリスク等です。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」および「サステナビリティに関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」または「サステナビリティに関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。また、「サステナビリティに関する記述」における、当社グループのサステナビリティに関連する取組については、当社グループのリスク管理およびその他の投融資等の目的を推進しそれらに対応することを目指す、当社グループが独自に決定した方針と方法に基づき行われ、また個々の決定は各法域において適用される法規制に基づき、それに従って行われます。

当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。